



更なる防災強化 について

志政会 永井 浩介

問 財政調整基金は、都市インフラの方に回さざるを得ず、早期の市民への生活再建などの財源として災害復興基金を創設すべきと考えますが、市の見解を伺います。

阪神淡路大震災では、建物火災の6割が通電火災であり、国の想定でも対策を徹底すれば、死者は二十分の一に減少可能と試算されております。住宅密集地などに限定した感震ブレイカー補助などを実施すべきと考えますが、市の見解を伺います。

また、国分寺台3・4・5丁目地域に限ると、市内一番の高齢化地域であるにも関わらず、近隣に広域避難場所がありませんが、これについて見解を伺います。

答（市長）：市では復興復旧は一般財源、財政調整基金で行いますが、限度もあります。災害復興基金については、先進事例を含め、今後研究してまいります。

答（危機管理担当専任参事）：感震ブレイカーの有効性は認識しており、国の動向や先進市を調査し、取り組んでまいります。広域避難場所については用地取得という課題があり、当該地域においても現状で対応せざるを得ませんが、住民の安全を考え、地域の現状に合わせて対応してまいります。

その他の質問

- ・ 持続可能な市民サービスについて
- ・ 学童保育について



ビナスポ利用者の 利便性向上

公明党 福地 茂

問 ビナスポは、オープンから約7ヶ月が経過しました。この間の会員数や利用者数、各年齢層の利用比率などについて伺います。

また、小さい子どもをお持ちの母親から、託児所のようなものを設けられないかという要望をいただいています。基本的には指定管理者の判断になると思いますが、市としての考えを伺います。

答（市長）：26年度の利用状況において、多くの高齢者や障がいのある方にご利用をいただき、大変好評を得ております。

答（市民協働部長）：26年11月のオープンから3月までの時点での会員数は、ビナスポ・ビナレッジ共通で、個人1万21人、団体1120団体となります。

ビナスポの利用者数は、7万8373人、月平均1万5675人、1日平均で560人になります。年代別の割合は、20代5・1％、30代8・7％、40代12・2％、50代10・7％、60代32％、70代28・2％となります。

託児所の設置については、常設ですとスペースの問題など、大きな課題があります。小さい子どもをお持ちの母親を対象とした託児つきのプログラムなど、検討できないか、指定管理者に投げかけてまいります。

その他の質問

- ・ 市営住宅入居者の利便性向上について



さらなる利便性向上を



放課後児童クラブの現状と課題、今後の取り組みについて

創新海クラブ 鈴木 守

問 働く女性やシングルマザーが増加しており、保育所と同様に放課後学童保育のニーズが高まっています。今まで保育所に預けることができて、小学校入学後、預け先が無くなり、下校した児童の相手をする大人がいない家族には切実な問題です。

国は、放課後児童クラブの改善に向け、本年度子ども・子育て支援新制度をスタートさせました。市においても条例を制定し、新制度のもと2ヶ月が経過しましたが、従来からの課題、新たな課題が山積しているように見受けられます。

市の放課後児童クラブの現状と課題、今後の取り組みについて見解を伺います。

答（市長）：学童保育の需要は、当面増え続けるものと考えます。設置場所の確保も重要な課題であり、公設民営での設置も推進する必要があると考えます。また、運営費補助についても国・県の動向を踏まえながら見直しをしてまいります。

答（教育長）：市内の学童保育の運営形態はすべて民設民営であり、事業主体もさまざまです。課題などに対応するため、学童保育連絡協議会とともに意見交換しながら最善と思われる支援を進めてまいります。



学童保育



ゴミの減量化・剪定 枝の資源化について

市民・ネットの会 西田 ひろみ

問 少子高齢社会・地球温暖化が進む中で、ゴミ処理の費用抑制と環境への負荷軽減対策は自治体の責務です。資源化によるゴミ減量化対策は必至です。

市において、可燃ゴミで資源化されていないのは生ゴミと剪定枝です。生ゴミは綾瀬、座間市を含め、資源化せず発生抑制を図る方向ですが、剪定枝について2市では分別回収し資源化しています。

市では26年度に上郷地区で6・11月剪定枝の分別回収をし、RPF（固形化燃料）資源化実験に取り組みました。RPFは製紙工場などで石炭に代わる燃料として使用され、化石燃料の抑制でCO₂を削減し、温暖化防止の一助となっています。海老名の森計画で12万5千本を植樹し、緑の奨学金制度などで市は、都市と緑の調和したまちづくりを推進しています。樹木の手入れは必須で、剪定枝の資源化を計画的に進めていくべきと考えます。27年度に中止した実験の総括と全地域展開についての見解を伺います。

答（市長）：剪定枝を資源物として有効に利用できることは確認できましたが、全地域展開するためには有料化を含めて総合的に判断していきたいと考えています。

その他の質問

- ・ 安心して子育てできる環境づくりについて